

## 第9期 横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画 (よこはまポジティブエイジング計画)に係るパブリックコメントの結果概要について

令和6年度から令和8年度までの3年間を計画期間とする「第9期 横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画（よこはまポジティブエイジング計画）」の策定に向け、パブリックコメントを実施しましたので、結果概要について御報告します。

### 1 実施概要

#### (1) 実施期間

令和5年11月1日（水）～12月1日（金）

#### (2) 周知方法

ア 素案の配布（素案冊子 16,182部、リーフレット 22,012部）

市役所、区役所、地域ケアプラザ、老人福祉センター、地区センター 等

イ 市民説明会

11月10日（金）市役所

ウ 関係団体等への説明

市・区町内会連合会、市・区民生委員・児童委員協議会、市・区社会福祉協議会、市医師会、市病院協会、市老人クラブ連合会 等

エ 広報

市ウェブサイト、市役所・区役所のデジタルサイネージ（動画を放映）、  
広報よこはま、はまインフォ（LINE・SmartNews） 等

### 2 実施結果

#### (1) 意見総数

381件（142人・団体）

#### (2) 提出方法の内訳

電子申請 40人

F A X 38人

意見募集ハガキ 17人

電子メール 12人

その他 16人

関係団体 19団体

### 3 主な意見

#### (1) 計画全般に関すること

- ・全体的にカタカナ用語が多いので、高齢者にも分かりやすいよう配慮してほしい。
- ・「ポジティブエイジング」という言葉は、とても良いと思う。
- ・楽しく暮らす高齢者の人物像を示してほしい。
- ・広報物等の記載について、「フレイル」などの横文字は、高齢者でも分かるように、その都度解説を補足するなど念入りにやってほしい。
- ・ウェブやオンラインの活用は、高齢者には難しい。

#### (2) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に関すること

##### ア 地域活動に関すること

- ・退職後に地域活動を始めても、退職前に顔が繋がっていないと難しい。
- ・ボランティア活動や市民の活動だけではなく、地域活動をする民間企業の活動も情報提供してほしい。
- ・高齢者を地域でどのように支えるのかが大事だと考える。地域で何をしてほしいのか、提案してほしい。

##### イ 在宅生活を支えるサービスに関すること

- ・在宅生活の継続に欠かせない小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所の未整備圏域について、整備を進めてほしい。

##### ウ 施設・住まいに関すること

- ・医療依存度が高い方が長期に渡って入所することができる場所が足りない。介護医療院や医療療養病棟の増床を検討してほしい。
- ・特別養護老人ホームを整備したあと、運営支援をしっかりとしてほしい。
- ・特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、有料老人ホーム、グループホームなど、施設の種類が多すぎてどこに相談して良いか分からない。

##### エ 介護人材に関すること

- ・介護職に従事される方は、報酬が労働に対して見合っておらず、離職する方が多い。人口減少に伴い、適切な介護が提供されるか不安。
- ・小中学生から介護の仕事について理解してもらうのは大事である。
- ・介護現場の生産性向上に向けたICT機器等の導入への補助金は助かっているが、パソコンやタブレット、専用ソフトの導入など、継続的に補助をしてほしい。

##### オ 介護保険制度の運営に関すること

- ・介護サービスの適正化に向けて、要介護認定の申請時に介護保険の必要性やサービス提供内容もあわせて市民に周知をするべき。

(3) 認知症施策推進計画に関すること

- ・認知症を恐れて暮らすのではなく、立ち向かって元気に暮らしていきたいと思っている。認知症高齢者に対する理解促進や認知症予防について、情報発信をしてほしい。
- ・認知症予防に関する情報が不足していると思う。
- ・認知症に係る事業や取組があまり知られていないように思う。もっと周知に力を入れてほしい。

(4) 介護サービス量等の見込み・保険料の設定に関すること

- ・将来の給付費の増大に対して、介護保険料の増加がこれで足りるのか心配。
- ・介護保険料の基準月額を設定する際に、介護職員の賃上げ分も含めるべき。
- ・保険料が上がり続け、この物価高で、どの家庭も暮らしは大変厳しい。保険料を上げないでほしい。

■意見内容別意見件数、構成比

内容	件数	構成比
◇計画全般、横浜市の高齢者を取り巻く状況、 計画の基本目標と横浜型地域包括ケアシステム	19	5.0%
◇施策の展開		
高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画		
I 自分らしい暮らしの実現に向けて	25	6.6%
II いきいきと暮らせる地域づくりを目指して	47	12.3%
III 在宅生活を支えるサービスの充実と連携強化を目指して	32	8.4%
IV ニーズや状況に応じた施設・住まいを目指して	34	8.9%
V 安心の介護を提供するために	67	17.6%
VI 安定した介護保険制度の運営に向けて	13	3.4%
認知症施策推進計画	41	10.8%
◇介護サービスの量の見込み・保険料の設定	38	10.0%
◇その他	65	17.1%
合計	381	100.0%

#### 4 【参考】介護保険運営協議会でいただいた主なご意見・ご要望

いただいたご意見・ご要望	対応状況	原案ページ
専門用語やカタカナ用語が、分かりづらい。	原案では、高齢者にも分かりやすい言葉に置き換えるほか、用語の意味について、補足を追記しました。	—
ケアマネジャーの負担が増えている。利用者に対して業務範囲など正しい情報発信を行うべき。	原案では、ケアマネジャーへの支援内容を新たにまとめたほか、ケアマネジャーの業務を利用者や家族に正しく理解してもらうためのリーフレットの作成について、新たに記載しました。	55
在宅医療連携拠点の取組内容がわかりづらい。	原案では、分かりやすく伝わるよう、文章を分けて記載しました。	57
「介護現場の生産性向上」という言葉が、分かりづらい。	原案では、介護現場の業務改善（生産性向上）に表現を変更しました。	82ほか

#### 5 計画原案（案）

別添のとおり

#### 6 策定スケジュール（予定）

令和6年1～2月 介護保険料の推計  
 3月 計画策定、介護保険条例の改正  
 4月 介護保険料の改定